

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成29年4月27日

京都府知事 様



提出者

住 所 京都府宇治市榎島町菌場78番地

氏 名 岡見化学工業株式会社

代表取締役 岡見 吉偉

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0774-22-6880

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

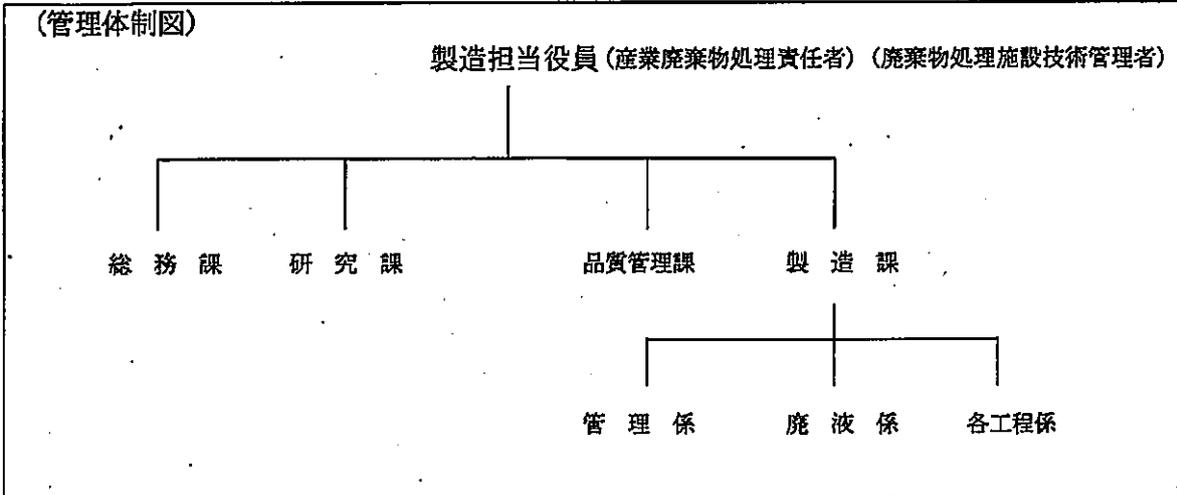
事業場の名称	岡見化学工業株式会社 本社工場
事業場の所在地	京都府宇治市榎島町菌場29番地
計画期間	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	2039 有機化学製品製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 400,000千円
② 従業員数	39名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(平成 28年度)実績】 別紙のとおり	
	特別管理産業廃棄物の種類	—
	排出量	— t
	(これまでに実施した取組) ・特になし	
② 計画	【目標】 別紙のとおり	
	特別管理産業廃棄物の種類	—
	排出量	— t
	(今後実施する予定の取組) ・使用後の分別化による再利用の可能性の向上を目指す。 ・収集運搬にタンクローリー車を導入し、分別化を推進する。 ・同一品目を連続生産し、洗浄用の溶剤の削減を図る。	

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・スチールドラム、ポリドラムに入れ、廃棄物置き場で保管
③ 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状のレベルを維持する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】 なし		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】 なし		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
②計画	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項 なし			
① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	—t	—t
	優良認定処理業者への処理委託量	—t	—t
	再生利用業者への処理委託量	—t	—t
	認定熱回収業者への処理委託量	—t	—t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—t	—t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物に関する必要な情報の伝達、確認を中心に、廃棄物の種類表示を確実に実施する。		

② 計画	【目標】 別紙のとおり	
	特別管理産業廃棄物の種類	—
	全処理委託量	—t
	優良認定処理業者への 処理委託量	—t
	再生利用業者への 処理委託量	—t
	認定熱回収業者への 処理委託量	—t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>現状の管理レベルを維持し、廃棄物内容の詳細化に取り組む。その情報に基づいた委託契約先との確認作業を充実させながら、安全且つ適切な処理と管理の適正を目指す。</p>	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

○特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

原料



反応

>①引火性廃油、②強酸、③強酸(有害)、④廃油(有害)、⑤廃アルカリ(有害)、
⑥廃酸(有害)、⑦強アルカリ



分離

>①引火性廃油、②強酸、③強酸(有害)、④廃油(有害)、⑤廃アルカリ(有害)、
⑥廃酸(有害)、⑦強アルカリ



乾燥



製品

① 引火性廃油

収集運搬(委託:) → 焼却(委託:)

収集運搬(委託:) → 混練(委託:) → 燃料化

収集運搬(委託:) → 油水分離(委託:) → 燃料化

② 強酸

収集運搬(委託:) → 焼却(委託:)

③ 強酸(有害)

収集運搬(委託:) → 焼却(委託:)

④ 廃油(有害)

収集運搬(委託:) → 焼却(委託:)

⑤ 廃アルカリ(有害)

収集運搬(委託:) → 焼却(委託:)

⑥ 廃酸(有害)

収集運搬(委託:) → 焼却(委託:)

⑦ 強アルカリ

収集運搬(委託:) → 中和→焼却(委託:)

収集運搬(委託:) → 中和→焼却(委託:)

